Hyper-V ホスト サーバの設定

この章の内容は、次のとおりです。

- ホスト サーバのオペレーティング システムのインストール，1 ページ
- VM-FEX for Hyper-V 用のシスコ ドライバおよびユーティリティの取得，2 ページ
- PF ドライバおよび VM-FEX スイッチ ドライバのインストール，2 ページ
- ポート プロファイル管理スナップインおよびユーティリティのインストール，3 ページ
- Microsoft Hyper-V マネージャでの仮想スイッチの作成，4 ページ

ホストサーバのオペレーティングシステムのインストール

はじめる前に

Windows 2012 Server Hyper-V のインストールの詳細については、Microsoft Windows 2012 Server のマニュアルを参照してください。

手順

ステップ 1 ホスト サーバに Windows 2012 Server Hyper-V をインストールします。

ステップ 2 Windows Server Manager を開きます。

ステップ 3 Windows Server Manager で、Hyper-V ロールを追加します。

次の作業

シスコ ドライバおよびユーティリティをインストールします。

VM-FEX for Hyper-V 用のシスコ ドライバおよびユーティリティの取得

手順

ステップ 1 シスコ サポート サイトから、Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ ソフトウェア バンドル ISO ファイルをダウンロードします。
Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ ソフトウェア バンドルには、VM-FEX for Hyper-V 用のドライバと、インストレーションおよび管理ユーティリティが含まれています。

ステップ 2 Cisco UCS Manager KVM 設定では、サーバからアクセスのための仮想メディアとしてソフトウェア バンドル ISO ファイルをマウントします。

ステップ 3 ホスト サーバから、ISO ファイルのディレクトリCSCO_VIO_INSTALLER_*version*を開きます。

ステップ 4 VM-FEX for Hyper-V のインストールと設定に関する最新情報については、readme.txt ファイルを開き、読みます。

PF ドライバおよび VM-FEX スイッチ ドライバのインストール

Cisco VIO ドライバおよびユーティリティをインストールするには、ホスト サーバで次の手順を実行します。

はじめる前に

Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ ソフトウェア バンドル ISO ファイルはサーバにマウントする必要があります。

手順

ステップ 1 ホスト サーバの Powershell で、マウントされた ISO ファイルの内容の CSCO_VIO_INSTALLER_*version* ディレクトリを開きます。

ステップ 2 管理者として、CSCO_VIO_INSTALLER_64_*version*.msi を実行します。

ステップ 3 [Custom] インストールを選択します。

ステップ 4 必要に応じて、ドライバ リストを表示するには、[VIO drivers] を展開します。

ステップ 5 [VIC iSCSI dump] をクリックし、[Entire feature will be unavailable] を選択します。

注意 インストールは、iSCSI ドライバが選択解除されていないと失敗する可能性があります。

ステップ 6 [Next] をクリックし、ドライバをインストールする手順を実行します。

ポートプロファイル管理スナップインおよびユーティリティのインストール

このタスクは、サーバにポート プロファイル管理スナップインおよびポート プロファイル ユーティリティをインストールします。

Hyper-V ホスト サーバにポートプロファイルユーティリティをインストールします。 ホスト サーバ、VM、またはリモート コンピュータにポート プロファイル管理スナップインをインストールできます。 リモート コンピュータから複数の Hyper-V ホストを管理するために、ポート プロファイル管理スナップインを使用できます。

（注） リモート コンピュータにポート プロファイル管理スナップインをインストールする場合、コンピュータが Cisco UCS Manager と Hyper-V ホスト サーバの両方に接続していることを確認します。

はじめる前に

Cisco UCS B シリーズ ブレード サーバ ソフトウェア バンドル ISO ファイルはサーバにマウントする必要があります。

手順

ステップ 1 サーバの Powershell で、マウントされた ISO ファイルの内容の VMFEX_TOOLS-*version* ディレクトリを開きます。

ステップ 2 管理者として、VMFEX_TOOLS_64_*version*.msi を実行します。

ステップ 3 このサーバから ポート プロファイル管理スナップイン を実行する場合は、[Typical] インストールを選択し、手順 7 に進みます。 別のサーバから ポート プロファイル管理スナップイン を実行する場合は、次の手順に進みます。

ステップ 4 [Custom] インストールを選択します。

ステップ 5 必要に応じて、機能リストを表示するには [Vmfex utilities] を展開します。

ステップ 6 [Vmfex Port Profile Manager] をクリックし、[Entire feature will be unavailable] を選択します。

ステップ 7 [Next] をクリックし、ソフトウェアをインストールする手順を実行します。

Microsoft Hyper-V マネージャでの仮想スイッチの作成

手順

ステップ 1 Hyper-V ホスト サーバで、Microsoft Hyper-V マネージャ を開き、仮想スイッチ マネージャ に移動します。

ステップ 2 ナビゲーション フレームで、[New virtual network switch] をクリックします。

ステップ 3 [Virtual Switch Properties] ペインでは、仮想スイッチの [Name] を入力します。

ステップ 4 [External network] を選択し、ドロップダウン リストから Cisco VIC イーサネット インターフェイスを選択します。

ステップ 5 [Allow management operating system to share this network adapter] のチェックボックスをオンにします。

ステップ 6 [Enable single-root I/O virtualization (SR-IOV)] のチェックボックスをオンにします。

ステップ 7 [Apply] をクリックします。
確認が要求された場合は、[OK] をクリックします。

ステップ 8 [OK] をクリックします。

ステップ 9 ナビゲーション フレームで、新たに作成した仮想スイッチの下で、[Extensions] をクリックします。
[Virtual Switch Extensions] ペインが表示されます。

ステップ 10 [Virtual Switch Extensions] ペインの [Switch extensions] で、[Cisco Vmfex Switch] を選択し、他のチェックボックスをオフにしたままにします。

ステップ 11 [Apply] をクリックします。
確認が要求された場合は、[OK] をクリックします。

ステップ 12 [OK] をクリックします。

次の作業

Microsoft Hyper-V マネージャ で VM を作成します。